

踏み跡 <My Mountains>

南アルプス前衛	源氏山と富士見山	No.250
---------	----------	--------

山中湖マラソンの帰りに登ってくる山も、西丹沢・御坂・道志・大菩薩と範囲が広がってきた。今回は南アルプスの前衛の源氏山と富士見山を目指すことにした。山の名前からして眺めがよさそうだし、もしかしたらキノコも採れるかもしれないということで、月曜日に休暇を取って一泊二日の山行にした。



平成6年10月30日

ユニシス山中湖寮を9時に出発。途中で昼食用の食糧を購入して一路西へ。本栖湖を抜けて中之倉トンネル・古閑トンネルをくぐり富士川沿いに出てからは北上して、鯉沢へ。

青柳から丸山林道に入り利根川沿いの平林へ、そして主稜線上の源氏山登山口に11時45分に到着。

靴を履き替えて12時に出発。ほぼ全山紅葉で素晴らしい山歩きになる予定だったが、ガスで何も景色は見えない。

主稜線上から源氏山へ尾根が分岐する辺りまで来たが、ガスが濃くなるばかりなのであらかじめUターンすることにした。14時50分に登山口に帰着。

今宵の宿を中富温泉に確保して、丸山林道へきのご探索に出かけることにした。カラマツ林の紅葉は絶好の見ごろで、落葉を被ったヌメリイグチなど少々ではあるが収穫を楽しむことができた。

中富温泉は、身延山詣の宿・富山の葉売りの宿・山林の人夫の宿などとして使われてきた宿らしい。

一泊二食付き6,500円。山小屋程度のきれいで、きれいで落ち着く温泉宿というわけにはいかない。

しかし、初めて来た私にビールを一本サービスしてくれた。

明日富士見山を目指すエネルギー源としてごちそうになった。(食事はまずまずの内容だった)

平成6年10月31日

6時半に起床。朝食をとって7時50分に出発。トマトジュースを一本土産にくれた。寺沢橋から入って平須からのルートに入ろうとしたが、入る場所が見つからない。やむを得ず堂平から入ることに変更。

堂平ルート入口に8時15分に到着。駐車場所を確保して8時25分に出発。トイレの建物の横に登山口があるのだが、何も表示がされていないので気が付くのにかかってしまった。

歩きはじめるとしばらくは杉林だが、やがて唐松が混じるようになってきた。もしやと思って注意深く目を動かしながら歩いていたらハナイグチが目立ってきた。

造林小屋(海拔1300mぐらいか?)9時27分。カラマツとモミ・杉の混合林で、上を見れば溢れるばかりの紅葉、足元を見れば沢山のイグチが。(右写真)



主稜線(海拔1600mぐらいか?)10時38分。林の中を歩いてきたので気が付かなかったが、実は晴れていて日が照っていることがわかった。しかし、高度を上げるにつれてガスが多くなってきた。

富士見山(海拔1639.5m)10時55分。昼食はオニギリ・イワシの缶詰・みかん。食事をしながらガスが切れるのを待つこと25分ほど。残念ながら南アルプスも富士山も一度も顔を見せてくれない。これでは「富士見」の山へ来た価値がない。しかし山頂の標識のほかには手作りと思われる油画的展望図が建っており、なんだか人の温かみを感じさせる頂上である。

寒いので眺望は諦めてキノコを採りながらゆっくりと下山。(ハナイグチ・サクラシメジモドキ)

踏 み 跡 <My Mountains>



(左写真：富士見山頂上 右写真：山頂の油画の展望図)



堂平登山口 13 時。おやつを食べている内に薄日が差してきたので、かすかな日差しの温もりを得て 30 分の昼寝を楽しんだ。

車は 14 時に出発、下部温泉でワインを買って富士吉田を 16 時半に通過。さすがに平日の道路は空いていてスムーズで良い。自宅帰着は 18 時 20 分。

以上

◆中富温泉・・・この文書を執筆している平成 23 年 1 月現在中富温泉は存在しない。
すでに廃業したらしい